

第180回浦添市議会定例会が2月27日(月)から3月24日(金)まで開会されました。松本哲治市長は、これまでの取り組みの成果と、平成29年度へ向けての方針について所信を表明しました。

平成29年度所信表明について、主な内容を抜粋して掲載します。

「浦添市が主役」、「市民が主役」、「子どもが主役」と、この3つの主役が、互いに相乗効果をもたらし、かつ循環する社会をしっかりと構築していくことにより、「いつまでも住みたくなる誇り高き浦添市」を築き、浦添市の持続的発展を実現してまいります。

市民の皆さま、地方は、そして浦添市は、これからが踏ん張りどころです。一番身近にある、一番大切な「ふるさと浦添」のすばらしい未来に向かって、共に力強く邁進していきましょう。



「浦添市が主役」

浦 添市は、那覇空港及び那覇港から近距離の位置にあり、物流機能等の観点から絶対的な地理的優位性を有しております。また、「西海岸開発」と「牧港補給地区跡地開発」が一体となった国際的リゾート地の形成および「てだこ浦西駅周辺開発」における環境に配慮した「スマートシティ」の形成など、県内でも極めてポテンシャルの高い開発計画が予定されております。更にクルーズ船バースの早期整備など浦添市の強みと魅力を最大限に活かしていくことにより、これからは「浦添市が主役」となって沖縄の未来を牽引してまいります。

また、「浦添市が主役」のまちは、「雇用」を生み出し、誰でも安心安全に暮らせる社会、生きがいと誇りの持てる社会をつくってまいります。そして、「浦添市」は「市民」を大事に守り育ててまいります。

「市民が主役」

ま ちは生きています。「市民が主役」となって生きています。人と人との繋がりは地域力を高め、地域の問題を解決し、まさに新たな息吹を与えます。「市民が主役」のまちは、「市民」が原動力となり「浦添市」を力強く育ててくれます。

浦添市は「市民が主役」の社会をつくっていきます。誰もが安心安全で平等に暮らせる社会、心身ともに健康で生きがいの持てる社会、そして喜びと幸せを実感できる社会をつくっていきます。そして「あなたのワクワク」を応援していきます。

誰もが安心安全で平等に暮らせる社会、心身ともに健康で生きがいの持てる社会、そして喜びと幸せを実感できる社会をつくっていきます。そして「あなたのワクワク」を応援していきます。



浦添市平成29年度所信表明 「浦添市が主役」、「市民が主役」、「子どもが主役」 ～浦添の持続的発展の原動力となる「3つの主役」～

「子どもが主役」

浦 添市の成長には、子ども達の健やかな成長が欠かせません。浦添市の未来は、子どもたちが担っています。「子ども達」が将来「浦添市」を大きく育ててくれます。

子どもたちのふるさととは「浦添市」です。子どもたちは、ふるさと「浦添市」でたくましく育ち、大きく羽ばたいていきます。子どもたちの未来は無限大で、夢のある未来です。浦添市は「子ども」を温かく守り育て、全力で応援していきます。「浦添市」は、「子どもが主役」のまちをつくっていきます。

子どもたちが生まれ育った環境に影響されることなく、心身共に健全に育つ環境をつくっていきます。子どもたちが未来へ羽ばたく環境をつくっていきます。子どもたちが安心して生まれ育つ環境をつくっていきます。



新年度予算について

本 市における財政課題といえます。国民健康保険事業特別会計の赤字解消、沖縄都市モノレール延長整備事業の本格化に伴う財源の確保等がござります。

このような厳しい財政環境のもと、限られた財源で最大の投資効果が得られるよう、新年度の予算を編成いたしました。平成29年度予算は、一般会計において492億円、特別会計において287億6846万円、企業会計において31億1032万1千円となっております。

